

星状神経節ブロックを受けられる方へ(超音波ガイド下)

星状神経節とは、第7頸椎前面にある自律神経節(中継点)で、左右に一对あり、ここから顔面・頸部・上肢・上胸部に自律神経の一つである交感神経が分布しています。交感神経は支配領域の血流・発汗などを主に管理し、身体に何らかの異常が発生した場合には、局所の防御反応として活動が活発になりますが、この現象が逆に異常を悪化させる場合があります。そのような時に、局所麻酔薬により星状神経節の働きを一時的に麻痺させる事で、支配領域の血流を改善し炎所・浮腫・過剰な筋緊張などの異常を軽減する治療法を“星状神経節ブロック”と呼んでいます。超音波ガイド下に行う事により、効果と安全性が格段に向上しています。

【適応疾患】頭頸部[^]上半身の痛み(筋筋膜性疼痛・神経障害性疼痛)、顔面神経麻痺、耳鳴りめまい聴力障害(メニエル・突発性難聴など)、全身性自律神経異常、上肢血行障害(レイノー病など)など多岐にわたります

【注射後の正常な反応】

注射の後には、一時的に以下のような変化が現れますが、正常な反応ですので心配は不要です。
約20分間、ベッド上で安静にしていただきます。

ブロックを行った側の

- 1、顔・頸部・上肢が温かく感じる、ほてる
- 2、上まぶたが下がる
- 3、目が充血する、瞳孔が小さくなり、何となくモノが見えにくい
- 4、上半身の発汗が減少する、肌が乾燥する
- 5、鼻づまり
- 6、薬液注入時の肩甲背痛

【偶発的な合併症】

A. (比較的頻度の高いもの)

- 1、声がれ；10-20%の発生率、1時間ほどで自然回復する、声がかれてる間は飲水禁止
- 2、喉の違和感；頻度不明ですが、10%程度との印象、数日間続く場合もあります

B. (稀で危険性の少ないもの)

- 1、腕や手のしびれ・脱力(腕神経叢ブロック)；頻度不明だが、1%以下との印象、1時間ほどで自然に回復

C. (重大なもの)

非常に稀ではありますが、生命に危険を及ぼすような重大な偶発的合併症が報告されています。

- 1、後咽頭血腫；注射針により血管が傷つき、気管周囲にできる血腫(血の塊)
 - ①発生率：4万~10万回に1回
 - ②好発時期：注射の2~3時間後に多い(注射直後から19時間の間に発生の報告例あり)
即ち、ブロック直後よりも帰宅後に発生が多い事にご注意ください
 - ③初発症状：頭痛・頸部痛・胸痛・呼吸困難・頸部の腫れ・背部痛・喉の違和感・頑固な又は再度の声枯れ(ブロック後1時間程度で自然に回復する声枯れは10-20%の確率で発生しますが、その事ではありません)
 - ④最も怖い症状：血腫による気道閉塞・呼吸困難。致死的に成り得る
 - ⑤治療：多くは軽症であり自然に吸収されるが、ごく稀に④の様な呼吸困難に至る場合がある。
その場合は、迷わず救急搬送を要請する事。

- 2、感染症；刺入部から細菌が侵入し感染を生じる。発生率のデータはありません。
血腫同様に非常に稀ではありますが、発見・処置が遅れると重症化する可能性があります。
ブロック後悪化する喉の違和感・頸部痛・熱感・発熱などの場合は受診して下さい。
- 3、アナフィラキシーショック；薬剤に対するアレルギー性のショック症状、問診が重要です
- 4、局麻中毒；局所麻酔薬が誤って血管内に注入され生じる症状（一過性の意識消失・痙攣など）、多くは1~2時間で自然に回復します
- 5、気胸、くも膜下ブロック、硬膜外ブロック；早期発見・対応すれば危険性は高くありません
- 6、その他：未知・未報告の合併症もあるかもしれません。この場で全てを説明する事は不可能です

【合併症予防のための諸注意】

- 1、出血し易い体質・病状・薬剤使用中（抗血小板薬・抗凝固薬）に該当する方はできません
- 2、ブロック中（数秒間）は、嚥下しない、発声しない、頸部を動かさない
- 3、ブロック後4時間は激しい運動をしないでください（通常的生活は問題ありません）
- 4、糖尿病・高血圧・肥満患者さんなど血管脆弱性が疑われる方は、ブロック後 24 時間は激しい運動をしないでください
- 5、血腫がブロックの2~3時間後に発生する場合があります事を考慮し、星状神経節ブロックはできるだけ午前中に行います
- 6、5と同じ理由により、午後が休診である水曜日・土曜日は原則として10時までに行います
- 7、星状神経節ブロックが不適當と判断される場合は、代用としてスーパーライザーの星状神経節照射や、痛む場所へのトリガーポイント注射を行います
- 8、万が一の緊急事態の発生に備え、下記の記入をお願い致します

【異常発生時の緊急連絡先】

- * 強い呼吸困難の発生時 → 迷わず 119 番、“首の注射後に息が苦しい”と告げる
- * それ以外の異常の発生時
 - ① 当院の診療中はクリニックへ：0467-82-2760
 - ② 上記以外の緊急時：・徳州会藤沢病院 TEL 0466-35-1177
・最寄りの救急病院（下記に連絡先を記入しておいてください）

病院 TEL _____

私自身は 30 年以上の臨床歴の中で、重大な合併症の経験はほとんどありませんが、神経ブロックなどの侵襲的な医療行為には、上記に説明した以外のものも含め、確実な予防や予見が困難な合併症が存在します。この説明書を必ずお読みいただき、十分なご理解の上、処置をお受け下さい。

私は前記の内容を理解し、処置に同意致しました

ご署名 _____

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明医師 院長 山口 真人

やまぐちクリニック 0467-82-2760